

めぐみイエス・キリスト教会

2018年7月8日(日)第二主日礼拝
週報「通算第413号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年7月8日(第二主日礼拝)午前10時～11時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏始祈】

【賛美Ⅰ】 新聖歌363「わが身の望みは」 p. 582

【交読文】 No.4 詩篇第18篇 p. 881

【賛美Ⅱ】 新聖歌209「慈しみ深き」 p. 316

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.1 「ビジョン」

【聖書朗読】 民数記13章・14章1節～9節(旧約p. 231上段)

【祈 禱】

【説 教】 《ヨシュアとカレブの告白》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

【聖書箇所】※民数記14章1節～9節(旧約p.232下段右側)

14:1 全会衆は大声をあげて叫び、民はその夜、泣き明かした。

14:2 イスラエル人はみな、モーセとアロンにつぶやき、全会衆は彼らに言った。「私たちはエジプトの地で死んでいたらよかったのに。できれば、この荒野で死んだほうがましだ。

14:3 なぜ主は、私たちをこの地に導いて来て、剣で倒そうとされるのか。私たちの妻子は、さらわれてしまうのに。エジプトに帰ったほうが、私たちにとって良くはないか。」

14:4 そして互いに言った。「さあ、私たちは、ひとりのかしらを立ててエジプトに帰ろう。」

14:5 そこで、モーセとアロンは、イスラエル人の会衆の全集会の集まってい

る前でひれ伏した。

14:6 すると、その地を探って来た者のうち、ヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブとは自分たちの着物を引き裂いて、

14:7 イスラエル人の全会衆に向かって次のように言った。「私たちが巡り歩いて探った地は、すばらしく良い地だった。

14:8 もし、私たちが主の御心にならば、私たちをあの地に導き入れ、それを私たちに下さるだろう。あの地には、乳と蜜とが流れている。

14:9 ただ、主にそむいてはならない。その地の人々を恐れてはならない。彼らは私たちのえじきとなるからだ。彼らの守りは、彼らから取り去られている。しかし主が私たちと共におられるのだ。彼らを恐れてはならない。」

●ポイント1 「言葉」とは？

※マタイの福音書12章36節～37節「主イエス様の教え」(新約p.21下段)

12:36「私はあなたがたに、こう言いましょう。人はその口にするあらゆるむだな言葉について、さばきの日には言い開きをしなければなりません。

12:37 あなたが正しいとされるのは、あなたの言葉によるのであり、罪に定められるのも、あなたの言葉によるのです。」

●ポイント2 「心に満ちているもの」とは？

※ルカの福音書6章45節「良い倉と悪い倉」 (新約p.111上段)

「良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。」

●ポイント3 「告白の力」とは？

※ローマ人への手紙10章8節～11節「口で告白して」(新約p.280上段)

10:8 では、どう言っていますか。「み言葉はあなたの近くにある。あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは私たちの宣べ伝えている信仰の言葉のことです。

10:9 なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

10:10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

10:11 聖書はこう言っています。「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」※『これを信じる者はあわてることがない。』(イザヤ28:16)

◎先週のメッセージの概要【宣教は教会から】

《一年ぶりにアメリカロングビーチに派遣されている斉藤順子宣教師が、礼拝に来られ、この一年間の宣教報告と礼拝メッセージをしていただきました。

先生はフルタイムの宣教師として、所属されている宣教団体から任命を受けられたとのことでした。これから、益々日本からアメリカの大学に留学に来る大学生の救いの為に、さらに本腰を入れて取り組まれて行かれます。

その新たな決意に、教会員一同、さらなる祈りのバックアップと、経済的サポートをして行きたいと願っています。

さて、アンテオケ教会には、かなりの教師や指導者たちがいました。彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロを私のために聖別して、私が召した任務につかせなさい。」と言われたのです。

本来、宣教師の派遣とは、このように教会にビジョンが与えられ、そして教会から遣わされて行くものなのです。アメリカの宣教団体では、宣教の志を持つクリスチャンを訓練し、準備を整えさせ、そして、その希望する国に派遣して来ましたが、今までは、向こうからコンタクトを取ってもらうと言う受け身の姿勢であり、待ちの姿勢でした。

しかし、このみ言葉から、もう一度原点に立ち返り、様々な教会の牧師先生に祈っていただき、その教会から宣教の志を持つクリスチャンを、宣教団体に推薦していただくと言う、攻めの姿勢に変わったとのことでした。

これによって、さらに多くの宣教師を、様々な国に送り出して行くと言う新たな道が開かれたとのことでした。今この宣教団体から大阪に一つの家族が宣教師として送り出されています。アメリカでの留学先にて信仰を持った学生たちが、その宣教師とコンタクトが取れるよう、帰国した学生たちをバックアップをして行きたいとのことでした。先生は7月14日に、アメリカに戻られます。

9月から新学期が始まります。ゴスペルコンサート、バーベキュー、サーフィンスクールと聖書研究会に多くの留学生が参加出来るようお祈り下さい。》

◎お知らせ

1. 次回礼拝は、7月15日(日)午後6時から、祈禱会は7月11日(水)午後6時15分です。なお7月18日(水)の祈禱会はお休みします。

2. 鈴木師は、7月9日(月)お茶の水朝禱会奏楽の奉仕、7月16日(月)～18日(水)ミツパ祈禱院にて行なわれます「東京神学校断食聖会」に参加します。